基督教の日本精神運動

皇國臣民意識と南イズムを鼓吹

内鮮の牧師團一體化

朝鮮に於ける基督教の布教は從來外國をバックとしてその實力投下と指導精神の下に傳道が行はれてゐた關係から全鮮五十萬の信者を導くべき牧師の中には國語の必要を認めず英語の勉強に專念し、全く國語を解せぬ者さへ多數に及んでゐると云ふ誤れる狀態にあり、事變における神社不參拜問題、南鮮における數校不祥事件等幾多の暗い問題を惹起し、國民精神總動員の戰時下に日本的基督教の確立が叫ばれてゐる際半島キリスト教の指導中樞機關である京城在住の各教派牧師並に牧師助手七百二十四人が一體となつて時局に對處する皇國臣民としての自覺強調と、南イズムの旗幟たる内鮮一體による基督教の日本化へ大々的運動を開始することとなり既に具體案を練つてゐたが全鮮五十萬信徒に眞の日本的基督教を鼓吹、皇國臣民としてこの導く傳道報國に邁進することゝなり、こゝに半島宗教史上の一頁を飾ることとなつた、之が先鋒として京城府内各教派の代表者金福宇、金禹鉉、車載明、鄭春洙、金顯常、張紅範、三井丹羽、秋田、笠谷、山口の諸氏中心となり、牧師を源泉として全鮮の信者に時局の正しき認識による日本的基督教の精神を注入すべく各種の實践運動に積極的に乘出すことゝなつた

先づ二十六日靖國神社臨時大祭を第一日として全國的に實施される國民精神總動員強調週間に呼應し二十六日午前七時半京城長谷川町基督教青年會館に在城牧師、信者代表者約一千名参集、午前八時朝鮮神宮に參拜して皇軍將兵の武運長久を祈願すると共に日本的基督教の確立と皇國臣民としての傳道報國を神前に固く誓ひ、二十九日の天長の佳節には午前十一時京城貞洞町培材中學校々庭に各教派代表牧師、信者代表等約一千名が參集し半島基督教創始以來最初の[illegible]たる天長節奉祝式を擧行、宮城を遙拜、救世軍のブラスバンドに合せて國歌奉唱、皇國臣民の誓詞を朗讀し、皇軍將兵への感謝を表明したのち一同朝鮮神宮へ參拜キリスト教日本化への力強い一歩を踏み出すことを神前に誓ふことゝなつてゐる

なほ在城牧師中の有志は皇國臣民としての自覺に生きるためには先づ國語を知るにありと從來の誤念を一掃、毎週一回京城長谷川町基督教青年會で山口牧師にアイウエオから國語の勉強を勵んでゐるが大したハリキリ方である、とに角内鮮一體の大理想を根幹としての基督教の日本化運動が全鮮的に湧き上り强大な力となつてクローズアップされることは喜ばしい現象として各方面の注目を萃めてゐる

滿航機 ロードス島出發

【ロードス（イタリー）二十四日同盟】滿洲航空會社のハインケル一一六型二機は翼を並べて二十三日午後四時ベルリンから東地中海のロードス島に安着、第一コースを踏破した、加藤、横山兩操縱士以下乘組員一行は頗る元氣で、同夜はロードス市に一泊、二十四日午前四時（東京時間同日午後一時）再び機上の人となり同地を出發第二コースの目的地バスラ（イラク）に向け離陸した、兩機のコンデションは頗る上々である

バスラに安着

【バスラ（イラク）二十四日發同盟】ベルリン、ロードス島間第一日航程を見事踏破して二十三日夜ロードス島に機翼を休めた滿洲航空會社のハインケル一一六型二機は二十四日午前四時（東京時間同午後一時）ロードス島を出發イラクのバスラに向ひ午後零時十分（東京時間午後七時十分）バスラに安着した、兩機は二十五日午後三時（東京時間午前十時）バラスを出發、第三コース目的地カラチに向ふ豫定

占師を毆殺す

妻を穢された恨みに

【光州】靈城郡島城面梅鶴里宋甲烈妻朴三葉（二九）が持病で常に苦しめられ、これがため家庭に不和がちであることを聞いた同面鳥石里賣卜者李末奉（四九）が『私が治療すれば必ず癒る』と云ひ藥代として多額の金品をせしめ更に朴女を穢したことが發覺、夫宋は憤慨して李の所在を捜索中漸く二十二日午後七時高興郡大西面海倉里で突止め自家に連行中途路の餘り李の全身數ヶ所を毆打、李は血達磨となつて遂に往生したが、この報に接した寶城警察署では順天支廳檢事局指揮のもとに死體を解剖すると共に宋を引致、取調べ中

男女三人組の路上賭博團

通行人を誘ひて捲上ぐ

廿四日午前八時半頃京城西大門路三の四五先路上で通行人を誘ひ込んで賭博中の男女三名を鍾路署員が取押へんとしたところ、二人は逃走し一名（四七）を逮捕した、李は金南生れ住所不定前科一犯李五福と共に鍾路三丁目附近を根據に通行人や學生、田舍出の連中を誘ひ込んで賭博をやり、時には一人が見張りを搔つ攫らつて逃げる等の惡辣を働いてゐたものである、鍾路署では一味を逮捕中

前借金横取り

京城付岩町二五九年相泰（四八）は大田の某飲食店の酌婦忠北生れ李金玉（二〇）を中林町輸陽酒店へ紹介して前借金七十五圓を前借させ全部横領消費した事實判明、廿四日夜本町署員に取押へられた

白衣の勇士 百卅二名

龍山驛へ到着

蔣政權打倒の聖戰に參加支那の山野を驅馳して名譽の戰傷病を負つた白衣の勇士百三十二名（内將校一名、准尉一名、下士六名、兵百二十四名）は二十六日午前十一時龍山着列車で到着、關係者に出迎へられ陸軍病院に入つた、なほ同列車の二十一名は平壤に下車した

純情の好青年

監督書記談

釜山檢事局濃生監督書記は語る『西君は若々しい純情でのものの好青年であつただけに殘念です、死なねばならぬ事情があつたにせよ、兄さんもゐるし相談してもよい先輩もゐたのに無分別な事をして呉れたものです、在勤は僅か一年半ですが頭腦明敏、性質も温順で一般の氣受けも良く將來を嘱望されてゐました』

漁船を眞二つ

汽船が衝突、顚覆させて逃走

漁師一名遂に溺死

二十三日午後十一時頃慶北盈德郡江口面大津洞沖合六浬の海上で慶南統營郡柄谷面の漁業中の漁船に盈德郡柄谷面の漁夫七名乘が込み船中で居眠りしてゐた所突如汽船が同漁船の中央部に衝突、同船を眞二つに切斷した、漁夫達は船尾に縋つて漂流中を六名は附近の漁船に救助されたが漁夫黄平模（二一）は行方不明となつた、同漁船に衝突した汽船は附近の漁船の語る所によると貨物船で北鮮方面に向つた形跡あり、遭難者を認めたに拘らず何等救助することなく逃げ去つた樣子があるので元山、羅津方面に手配して同船を搜査中である

飛込み待て

廿四日午後五時ごろ京城府外廣壯里の廣津橋上から飛込まんとする男を死の一歩手前で通行人が發見救助した、京畿道楊州郡中伐面興穀舍さん（二）で持病を苦に投身せんとしたものである

自動車盜難

龍山署へ六件

廿六日朝龍山署司法受付に京城松峴町六〇金顯和、中林町一五四柳出所蘆一浦へ飛び、同邑藝町三十醫師林静夫氏方に忍び込み來年中の醫師河野正慶氏の現金百十圓入オーバー、靴を窃取したかねて手配中の犯人と判明、檢事取調べ中

六日間に十萬人

昌慶苑の夜櫻に醉ふ

滿都の春の人氣を獨占してゐる京城昌慶苑の夜櫻は去る十九日開苑以來連夜大盛況で二十四日夜まで六日間の累計は十萬七千三百八十七人に上り、入苑料は二萬百九十圓九十錢に上つたが、昨年に比べると六千五百二十人、千三百二十四圓十錢の減少となつてゐる、二十四日夜の入場人員は一萬四千二百三十一人でぼつぼつ散りそめた落花を賞でる人で賑はつた、たほ夜櫻開苑は二十六日夜限りである

萬引女

廿四日の日曜の雜沓にまぎれ、京城蓬萊町一金貞淑（二）は丁子屋、三越の兩百貨店で婦人用セル、水彩繪具、クローム鞄を萬引したのを店員に發見され本町署へ突き出された

總動員週間の僞物マーク

煙草屋さんやらる

二十五日午前十時ごろ京城漢江通一三ノ七三煙草商徐麟誠一氏方へ洋服を提げた四十五歲位の内地人男が訪れ『國民精神總動員強調週間に洞にマークをつけませう、自分は某小學校から百方の店で賣つて貰ふやう依頼されて來た者です國旗、愛婦等では一箇四錢、一般には五錢で賣つて下さい』と詐稱、日の丸マーク千箇を二十五圓で賣却立去つたが後で調べると原價三圓位の品と判明、龍山署へ屆け出た

たほ包紙中には『名古屋市中村區則武町高原各種特許品製作所』と記入したビラがあり、領收證の捺印は『桑原』となつてゐるまた名刺には住所明城本町となつてゐるが明城には古本町と北本町とがあつて單に本町と云ふ町名はなく、龍山署で犯人搜査中

小學生輪禍

京城弘福町五八四裵英氏三男壽洞小學校生徒裵命君（一〇）は同町一六八地先で電車道を横斷中、教化門方面から鐘路三丁目に向つて進行して來た南大門通一丁目亞細亞タクシーの京九三九七號（運轉手金官鳳）自動車ノレンダーに跳ねられ前齒二本を折つた、同自動車は廿日朝京城驛前を廿五粁の强スピードを出して檢擧された因縁付のものである

前科五犯男

京城驛で捕る

廿四日京城驛で本町署員に挙動不審で取調べられた黄海道海州生れ住所不定白成龍（三）は追及の結果前科五犯去る二月金山刑務所を出所

列車事故（明暗二相）

明暗二つの列車事故、一人は痛飮から山形へ歸る途中の女、一人は罪を償つて歸鄕の途中の二十四歲の女、一人は罪晴れある二十四歳の女、一人は十歲の身で我家へ歸る途にある、兩者とも同じ列車から轉落、一方は身を病院に橫へてゐる

◇……二十四日午後十一時ごろ東海北部線前往驛構内で全身數ケ所に打撲傷を受け苦悶中の老婆を發見、目下應急手當中……江原道三陟郡北面三山面生れ成興刑務所を出所我家へ急ぐ途中同夜十時ごろ元山發普城行七一〇列車から誤つて轉落負傷したもので、成興驛長[illegible]

◇……二十四日午後七時二十九分ごろ京城發平壤行一〇七列車乘務員が汗浦、金郊間で線路附近に苦悶中の婦人を發見、汗浦驛に報告したので同驛では係員を急派金郊に運び手當中だが重態、同女は開原から山形縣鶴岡までの三等切符を所持、身元調査の結果山形縣鶴岡市新町陶山善平妹ミツ（三）と判明、同日午後三時五十分同所通過の奉天發釜山行第四列車から轉落したものと見られてゐる

赤十字の乳兒審査

昨日第一回

戰時下の赤ちやんの體位向上と日赤朝鮮本部主催の乳兒審査會は二十四日午前十時から午後五時まで京城明治町愛婦幼稚園で開催、赤十字病院小兒科長石橋博士他二人の先生と十人の看護婦さんを動員、内地人二百二十八名、朝鮮人四十五名と三百に近い赤ちやん群像を順々に體格と體質の兩方面から丹念に審査、選ばれた優良乳兒は更に二十六日午後一時から同園で行はれる再審査を受ける資格を頂戴する譯だが、附添のお母さん達は何れも自信たつぷり、さすが戰時下の赤ちやんだけに泣聲一つ立てずみんなおとなしく目方を量られたり、可愛い胸に聽診器をあてられたりしてゐた（寫眞はその審査場）

少女即死

江原道江陵邑東海商事會社所有のトラックを李基成（二）が運轉し、二十二日午後二時三十分頃邑から江陵郡沙文面平門里へ進行中道路を橫斷せんとした黄淑女（七）の頭面をフェンダーで强打、即死させた、目下江陵署で取調べ中

悲戀の阿蘇心中

釜山檢事局の書記と愛人

【釜山電話】純情相愛の男女が九に添はれぬのを悲觀し春に背いて死を大阿蘇の噴火口に選んだ悲劇がある——釜山大廳町一ノ四七下宿業岩立晴三郎氏方に止宿する釜山檢事局書記西勉君（三）は同家の三女スエ子さん（二）と昨年六月頃から相思の仲となり本年初め頃スエ子さんの父親に結婚を持ち込むまでに進展したが、去る二十一日夜突然二人は無斷家出し消息を絕つたので爾來行方搜査中のところ、去る二十三日夜阿蘇第一火口に投身自殺を圖つたが岩壁の途中に引かゝつて苦悶中を硫黄採取の人夫が發見、危險を冒して救助したが男は絕命、女は宮地町北村醫院に收容手當中であるが頭部その他の打撲傷で生命危篤との通知があつた、西君の實兄で釜山地方法院職務の田尻書記とスエ子さんの父岩立晴三郎氏は何れも二十四日朝急遽現地へ出發した

"結婚には贊成でしたのに"

女の母親語る

またスエ子さんの母親は涙ながらに語る『今度はまた思ひがけぬことで皆樣をお騷がせして相濟みません、二十一日夜二人が家出してから何も便りがないので無事でゐるやうにと祈つてゐましたのに悲報を受けて驚いてゐる所です、西さんからは直接嫁を呉れないかと話がありましたので反對ではないが一應間に人を立てゝ正式に進めるやうにして欲しいと返事し、私の方に下宿されてから半年近くにもなり氣心もわかつてゐるのでお兄さんからでも表向きに話があればとそんなに考へてゐたのにとんだことになりました』

給料係を奇貨に賃金を費込み

假面の模範社員全貌明るみへ

既報、公金費ひ込みの嫌疑で京城西大門署に檢擧された府内蓬萊町三丁目朝鮮印刷所工場會計係石田孝次郎（三）は取調への進展につれ模範社員の假面の下に隱れた罪惡が續々暴かれつゝあるが、同人は彈一點張りの男として社の信用を一身に集めてゐただけに同社を初め知人關係を驚かした

檢察の眼が石田の上に光つた端緒は同人は僅か九十五圓のサラリーマンで六人の子供を抱へてゐるにも拘らず重役級以上の豪奢な生活をなし、一方夜每に東券や丸ビルの一流酒場、女給連と豪遊を續けてゐるのに不審を抱き引致したものであるが、果して約五年前から前記印刷所職工八百人の給料係を擔當したのを奇貨として職工の勞動時間をごまかし毎日一人の職工から四、五錢乃至七、八錢宛勞動賃金約五千圓を五年間連續的に騙取し私腹を肥やしてゐたことが判明した

河西中佐講演

京畿道では廿五日午後一時半から目下仁川入港中の驅逐艦隊司令官河西中佐を招いて時局に對する講演會を開催職員の時局認識を深めることになつた

十一名生埋め

江東炭坑落盤の椿事

二十四日午前七時頃平北江東炭坑高飛里坑の新鑛坑第六坑口において突如落盤を生じ入坑作業中の監督一名坑夫十名は生埋めとなり直ちに救出作業に着手すると共に外部より鐵管を突きさし内部と通話した所現在のところ無事なることが判明したが、救出するまでにはなほ一日を要し二十五日午後に至るものとみられてをるので更に鐵管を通じて食事等に萬全を期しつゝある

服毒

京城阿峴町山七金龍燦（七）は二十四日午後二時ごろ苛性曹達自殺を圖つてゐるのを家人が發見、阿峴醫院で手當を加へたが生命危篤、原因は精神異常から

窓硝子破り

前科二犯男遂に捕る

月廿一日眞洞町一南相梁氏方の窓硝子を破つて侵入、貴金屬、現金六十圓を盜んだのを手始めに吉野町、明治町、太平通などを荒し現金、貴金屬、衣類、日本刀など約八百圓の荒稼ぎをし、南大門通東洋火災、京電、長谷川町近澤商店では銅製看板を窃取、古物商に故賣被害額は千三百圓の多額にのぼつてゐる

廿四日夜京城本町署内鍾、中鍾刑事に逮捕された成南文川郡都草面川内里生れ住所不定崔永煥は嚴重な取調べの結果前科二犯の强か者で最近府内各所に續々と起る窓硝子破りの張本で、外に銀行會社の銅製看板窃盜人と判明

同人の自白によると十四歲位の通稱ゴマ少年を手先に去る三

百萬圓突破

京城春競馬總賣上げ

事變下に於ける本春京城競馬は去る九日から開催され廿四日までのうち八日間開催されたが、馬產獎勵、馬事改良の國策に協力した國民の熱誠によつて遂に朝鮮競馬界の新記錄を破り百萬圓を突破すること七萬九千三百圓に達し、これを昨春競馬の九十五萬七千九百六十圓に比し十二萬千三百四十圓の增加を示した

最後日成績

◇ア系新抽（一、六〇〇）三頭1ハヤハタ鐵西二分〇秒二2キンチヨ中野五馬身3關根大單二十二圓五十錢

◇古呼（一、八〇〇）七頭1グレートリオン劍田二分〇三秒二2ファイヤ鐵西四馬身3カミカゼ川上大單二十七圓

◇抽古（一、八〇〇）六頭1ダイニジツギヨー岡根二分〇四秒三2ソウリウ中野二分の一馬身3アサノコトブキ奧村クビ單七十三圓複1四十圓2三十八圓五十錢3五十錢

◇新呼（一、六〇〇）四頭1ワカタケ大久保一分五十一秒1エボツクメーキング劍田三馬身3レ

◇障碍優勝馬（三、三〇〇）五頭1シユウホウ劍田四分〇四秒一2ワイルド船場三馬身3ロビンマル藤井四馬身單四十三圓複1二十六圓五十錢2二十四圓

◇抽新優勝馬（二、二〇〇）十四頭1ガゴシマハナゾノ中野二分三十五秒2ミンユウ潘間クビ3タケギク東半馬身單四十三圓九十錢複1二十三圓2二十一圓五十錢3三十圓

◇抽古優勝馬（二、四〇〇）十一頭1イチギ劍田二分四十五秒2ダイニハツク潘間一馬身稍3アリアケ鐵西五馬身單二百圓複1五十一圓2三十一圓五十錢3四十一圓

◇新呼優勝馬（二、二〇〇）四頭1メリツト古賀武二分二十六秒2セントヒリユウ平田五馬身3ハツサカニ潘間五馬身單二十七圓

◇古呼優勝馬（二、六〇〇）十頭1トラヤンブ藤井二分五十秒・2セントスピー鐵西半馬身3ヨウナス奧村三馬身單二百圓複1五十二圓2二十六圓3二十五圓

◇アニホ新抽（一、六〇〇）五頭1クンサンマルテン恒任一分五十六秒・2ダイニコトブキ川上一ンドトクマサ中野一馬身半單五十五圓

◇抽新（一、六六）四頭1スピードキング劍田一分五十一秒・12ニピシ潘間半馬身3ゴシママキソノ池ノ平大單四十四圓

◇抽新（一、六〇〇）七頭1ヒガシヒメ恒任一分五十八秒・2チクスター船場クビ3チクバノミネ藤井三馬身（單）五十七圓（複）1二十六圓五十錢2二十九圓

◇各古（一、八〇〇）七頭1キンクワザン鐵西二分〇二秒・2クイツケロハリユウ劍田二馬身3ツミドリ中野ハナ單百十四圓五十錢複1五十二圓五十錢2二十九圓

馬身3ストロンク奧村單三十一圓五十錢複1廿五圓2五十八圓五十錢

賣上高拾九萬四千五百拾圓也

法立引分け

接戰十二合

神宮球場法立第一回戰は廿四日午後三時卅分から立教先攻に開戰したが立の西郷、法の赤根谷何れも好投して一——一のまゝ本シーズン最初の補回戰に入り接戰十二合六時一分日沒のため引分となつた

立（先）	000010000000
法	100000000000

（バツテリー）（立）西郷——竹内　（法）赤根谷、有村——町田

（球審）坪井、（壘審）角田、吉相、伊丹

行旅死亡者追悼法要

慈濟醫院で

京城元町一の二二佛教慈濟醫院ではサ七日午後一時から同院聚會で創立滿二十週年式典を兼ねて行旅死亡者二千六百七十三名の追悼法要を行ふ

人と催し

◇京城靜岡縣人會では二十六日午後六時から第二十師團管下靜岡縣出身の將兵約六百名を京城長谷川町公會堂に招待して慰安晩餐會を開催

◇朝鮮實業俱樂部では北支より歸任の室田事務官を迎へて廿六日午後六時から北米倉町京城俱樂部で講演會開催

今晩のラヂオ

六時子供のテキスト（東）子供鍛錬部▲七時三〇分講演（城）本府文書課長井坂圭一良▲七時四〇分講演（大）海軍大將大角岑生▲八時名曲ファンタジー（東）江戸川蘭子外▲八時三〇分落語（東）林家正蔵▲八時五〇分浪花節（東）木村友衞

二十五日朝の概況

高氣壓は揚子江流域と小笠原東方海上とにあり内地は氣壓の谷となつて雨の所が大部分です、支那、南満洲及朝鮮は高氣壓の圏内にあつて穩て快晴です北滿洲は晴と曇が半々です鮮内の氣温は大部分平年より二三度の低目ですが中江鎭、新義州、全州等は六度内外も低くなつて居ます

天氣豫報（26日）

地方	風	天氣
京城・南鮮	南東乃至南西の風	晴れたり曇つたり
全北・全南	南東乃至南西の風	同
慶北・慶南	南東乃至南西の風	同
平北・平南	南東乃至南西の風	同
咸南・江原	南乃至南西の風	同
咸北	南東乃至南西の風	同

仁川の潮時（26日）

	午前	午後
滿潮	[illegible]	[illegible]
干潮	[illegible]	[illegible]

京城地方【今晩】晴れたり曇つたり【明日】同じ

仁川地方【今晩】南西の風晴曇一時曇【明日】同じ

京城溫度（二十四日）最高十六度七最低六度五（二十五日）五度五正午十五度一

快男子（7）

大島伯鶴演　今村恒美畫

誕生祝

仁禮中尉は、隊へ出ても毎日不思議に思つてゐます。兵隊連中も不思議に思つて、

○『オイ中村、この頃仁禮中尉殿の號令の掛け方が、馬鹿に元氣だ』

△『うむ、さうだ、不思議ぢやね』

○『何んだか尻が抜けてしまふやうな、聞手ではないか、何面にやられたかた』

△『そんなことがあるか』

○『何しろ三軍を叱咤するといふやうな勇氣がなくなつた、何所か悪いのかな』

△『妙だな』○『妙だ』

と兵士達は言合つてをります。

それから半月ばかり經つた或る日のこと。大隊長の岡本少佐が、誕生祝だといふので、部下の將校連を、自分の屋敷へ招待いたしました。その日の隊が退けて、夕方になると將校連は、近い所の人は我家へ歸つて和服と着替え、家の遠い人は軍服のまゝ、大隊長の屋敷へ、ぞろ〳〵詰掛けてまゐります。

甲『ヤア大隊長殿、今日はお招きにあづかりまして、有難うございます』

岡『ヤア村田か、よく來てくれた、さアどうぞ……』

乙『ヤア今日は大隊長殿、御目出度うございます、折角の御招待ですから、甘へてお伺ひいたしました』

岡『イヤよく來てくれた、サア向ふへ……』

丙『イヤ大隊長殿、今日は有難う』

丁『ヤツ、大隊長殿……』

いづれも鱗を呑んだやうな形で擧手の禮をいたします。

岡『諸君、よく來てくれた、今日は何にもないけれども、自分の心ばかりの祝ぢや、只何分屋敷が狹いので、諸君窮屈ぢやらうが、マア辛抱して……その代り愚妻が鰯汁を馳走しやうツちうので、二三日前から支度をしてをつた、どうか十分に食べて貰ひたい、それから旅團長殿下から、ウヰスキーを頂戴した、聯隊長殿からもビールを三ダースほど頂いた。これも殘らず口を開けるから、諸君大いに飲んで呉れたまへ』

『ヤア御馳走です』

やがて宴會は始りました。所へ、

『ヤア大隊長殿』『ヤア』『ヤア今日は……』

と後から、後からとぞろ〳〵繰込んでまゐります。その内に一人がスイと起立して、

『エヘン大隊長殿、今日の御誕生祝に御招待を賜りましたことは、吾々としてはこの上もない光榮に存じます。就きましては我が第一大隊將校團を代表して、自分から一言御挨拶を申上げます、エヘン、大隊長殿には、今日第五十二回の誕辰を迎へられたといふことは、誠に目出度いことであります、この品、甚だ粗末なものでございますが、吾々將校團の寸志でございます、どうか御笑納下されば吾々の本懐とするところであります』

と恭々しく紅白の水引のかゝつた品を岡本少佐の前へ差出した。

岡『ヤアこれはどうも困つたね、諸君等にさういふ迷惑をかけては濟まん、併し折角のことぢやから頂いて置く、イヤ諸君有難う』

パチ〳〵パチと拍手が盛に起ります。

岡『サア諸君、十分寛いで……オイ弛辛、奥にいふての、早く鰯汁を出さんけりやいかんツちうて來い、早うせい、駆足で行つて來い……オイコラ兵站部長は何をしてゐる、兵糧が間に合はんぢやないか』

まるで戰爭のやうな騷ぎです。その内に奥さんが出て來て挨拶をする所へ、鰯汁が運ばれる。酒が廻つて來ると活潑な軍人達ですから面白い。と、山中といふ中尉が

中『オイ仁禮、貴樣何をぼんやり考へてをる、大隊長殿のお招きぢや、劍舞でもやれッ、鞭聲肅々夜河を渡る……オイ、やらんか仁禮』

仁『うるさいッ』

中『ナニッ、うるさいといふことがあるか、劍舞をやらんか』

仁『うるさいッ』

ピシヤリッと中山中尉の横面を毆つた。

化粧品値上謹告

化粧品は國民保健衛生上に於ける必需品たる使命に鑑み、當業者は常に良品廉價を主義とし輸入防遏、輸出增進に努力罷在候處、今事變發生以來諸原料、材料の昂騰に加ふるに四月一日よりは更に消費税を課せらるゝことゝ相成候に付、已むなく

各種化粧品最少限度の値上を行ひ

以てその品質、聲價の維持に努め候事と相成候に就ては何卒當業者の苦衷御賢察の上倍々御愛用の程奉懇願候

昭和十三年四月

全國化粧品業組合

船来品に優る品質だから……整髪感も一頭地を抜く！

手間なし　無駄なし　御婦人方にも上品

パリー製に優る　國產最高級品

丹頂チック

新龍山三角地（入院隨意）

西原產婦人科

（電話龍山一〇三五番）

結核体質に

革の芽どきの再發・亢進に備へよ！

どりこの

今村病院

内科　小兒科　レントゲン科

院長　今村豊八

往診は可成午後一時迄に御申込み下さい

入院隨意

テイチクレコード

若き日の感激を謳ふ美しい詩と曲！

歡喜の丘

古賀・藤山の名コンビが八年振りに贈る新しき感激！

島田芳文・詩　古賀政男・曲　唄　藤山一郎

この歌によつて清純透徹の新しい感激を與へる

青春旅情　藤山一郎

東京ラプソディ　男の純情　青い背廣で

うれしい入學　樂しい學課

學べ　遊べ　健やかに

強壯劑　ビオトニク

へ挪

胃酸過多にはノルモザン

新發賣・服みよい

小粒ノルモザン

胃酸過多・胸やけ・胃痛に

ヨク　マナビ　タベテ　ヨクアソベ

グリコ

九州郵船出帆廣告

釜山出帆

漢江畔南山麓眺望絶佳無二の理想郷

華鏡臺（南山麓）住宅地

朝鮮農林株式會社

醫學博士　衣笠茂

衣笠產婦人科

京城南大門通四ノ八五

電話本局5912

嬰兒の御沐浴に

シッカロール

和光堂

赤ちゃんはどんなに喜ぶことでせうか！

淋しいことも飢じいことも母の乳房に縋つて忘れますものを、お乳が不足ではどんなに心細いことでせう

ぜひ一番良い森永ドライミルクを與へて慰めてあげて下さい

乳不足を知る方法

母乳そつくりの世界最良粉乳

森永ドライミルク

森永煉乳株式會社

創立　明治三十二年

京城府南大門通二丁目

株式會社　朝鮮商業銀行

ミヨシ

專賣特許　保溫　保冷　材料販賣　工事請負

東京　伊藤保溫工場　朝鮮出張所

パピリオ

船來よりいゝのができた時でなきや、決して出しません。

クリーム　白粉　粉白粉　口紅　頰紅

朗らか

にするには、まづ心からなる欣び……

仁丹は是非共お勧め致します

仁丹は常に明朗を呼び、爽快を與へて精氣潑剌そのものとするからです

キッコーリウ醤油

中央館

讀賣ニュース

旋風街

モスコウの一夜

松竹キネマ　明治座

ニュース映畫

女學生と兵隊さん

再び戰場へ

維新の歌

黄金座

パ社京日ニュース

泰西俠盗傳

朝日ニュース

青春ホテル

日活　喜樂館

朝日・毎日・時局ニュース

あゝそれなのに

スイング

白井權八

朝日座

東京名物爆笑王　曾我廼家五九郎劇

京城劇場

四月三十日より

東家樂燕

御門博

京龍館

忍術かてしんよし侍キートン

朝日世界ニュース

人生競馬

浪花館

燈台守

霧の歌

越後屋騷動

大朝・京日・ニュース

ワカゲキ

空中ビレウ時代

朝日ニュース

大世紀の合唱

大限りなき世界

社説　時局恒久化を再認識

銃後報國に一路邁進せよ

支那事變は第二段階に立到つた。國民政府の第三國を恃む長期抗戰の繼續、西安、蘭州、廣倫を結ぶ赤色ルート、香港漢口の英支動脈に、雲南とビルマ及び佛印方面の新通路が活躍を開始したと傳へられてゐる。蒙疆、北支、南京に三つの新政權が誕生したとは云へ、その勢力範圍は實質的に局限されてをり、皇軍の占據地域は益々擴大され、海上封鎖線は香港から遠く佛印印度に及ぶ有樣であつて、國民政府が豫め期待し第三國をして錯覺に陷らしめた、長期消耗戰の事態に到達したことは否まれさうにもない。時局は益々重大化し、國を擧げてこの長期戰に對處しなければならぬのであつて國民精神總動員運動を展開して、本日よりこゝに一週間、銃後報國強調週間が實施せられるの所以も亦こゝにある。この週間に於てあらゆる團體、機關が動員されて、國民個々が時局を再認識しなければならぬのである。皇軍は今や蒙疆から山西省境を壓し、江蘇、安徽、浙江に亘る江南一帶の地を略し、徐州を挾んで南北通過攻軍は接續ならんとしてゐるのであるが、この廣大なる占據地域の治安は、皇軍駐屯地、鐵道沿線を除いては未だ全からず、加ふるに敗殘兵、匪賊は昨夏の洪水に流浪せる土民を使ひ各地に蠢動し、臨時政府の發展も地圖の上に於ては易々たるもの々如きも、諸種工作の進展に俟つ外なき狀態にある。然も第三國の援助は依然として繼續されつゝあり、特に蘇聯の動向は一日も輕視を怠るを許されない。第三國の武器供給と所謂拉夫による敗殘兵の補充により、數の上に於ては兵力の維持も可能であると觀測されてをり、加ふるに第三國が虎視眈々として日本を阻止し、支那大陸の植民地化に毒牙を磨いでゐる事實に思ひを及ぼせば、事變の長期化、重化を痛感せざるを得ないのである。然るに蘇聯の對支援助消極化、英國外交政策の轉換、國府の外貨クレヂット設定失敗、國共の抗爭激化等々の報道により、時局の前途に樂觀的見解を持つが如き事あらんか、これこそ國民精神の弛緩であり、銃後精神の後退であつて、この間隙に乘ぜらるるが如き事態なしとは保し難いのである。

國民は非常時の呼び聲に狎れて時局の認識を誤つてはならぬ。近代戰は思想戰であり、物の戰である。國民精神の昂揚持久による國家體制の完成と如何なる長期戰にも耐へ得る經濟力、物の即應的持久力がなければ戰果の全收は困難である。日本は國民政府を對手に戰つてゐるのではない。第三國を相手に戰つてゐるのである。如何に長期に亘るともこの嵐を突破しなければならぬ。それが躍進日本の生成する民族の要求である。こゝに於て國民はこの事態を再認識し、心の構へを搦て直さねばならぬ。第一線將兵の心を心として毎日の生活を緊張せしめ、長期消耗戰に堪へ得る爲めに、消費の節約に、貯蓄の實行に努力し、國家經濟力の培養に努めねばならぬ。こゝに銃後精神強調週間實施の趣旨を味得し、精神的に經濟的に待つあるを恃むの心構へを堅持しなければならぬ。

總動員法適用か

首相の新決意と革新

【東京發】近衛首相の登議と日を同じうして木戶文相及び杉山陸相も歸京あり、議會閉會後三週間に亘る政局不透明はこゝに一應の打開を以て新事態下の内外革新政策の遂行に移行し新たなる決意を以て起ち上ることゝなつたが、過般の政局混迷の底流には單なる近衛首相の個人的心境の動搖のほかに内外政策上の諸問題とこれに絡まる内閣改造上の難關が存在したことは既報の通りである、いざ近衛首相の新決意に基づく右の諸政策の實現は如何なる方向を辿るかに就き、權威ある筋の意見を綜合するに左の如くである

先づ、國内政策に於ては革新政策の集中的表現たる國家總動員法の即時適用か否かに就て首相の決意が略々成つたことが觀測される、而して事變對處策の動向並に對蘇關係の新事態認識を通じて こゝ一、二年の間に國内戰時體制と生産力擴充の急速なる推進が所期されねばならぬがそのためには國家總動員法の適用に躊躇を示すべきときではない

しかも、これは單なる經濟的國防の見地に止まらず、事變に伴ふ國内情勢の矛盾は漸く慎重なる政治的考慮を要する兆を示しつゝあり、この意味にも革新政策の實施たる實踐が必要となつてゐる、從つて近衛首相の三週間に亘る熟慮の結果は、國家總動員法の發動に就て相當決斷案を下し得たと信ずべき理由があるとなしてゐる

大川博士等を中心に研究會を組織

大陸政策強化が目的

【東京特電】最近大川周明博士、松井石根大將、竹下勇大將、十河信二、頭山滿、白鳥敏夫、石原廣一郎の諸氏を中心に時局克服、大陸政策の強化を目的とする研究會が組織されてゐるとが傳へられ注目を惹いてゐる、しかして右の顔觸れから推して對蘇、對英問題の解決に向つて時局指導をめざすものとみられてゐるが、同時に從來の關係からみて末次内相支持の具體的活動をも遂行すべく、政界の中に所謂革新勢力の首腦を以て注目されてゐる末次内相の動向が注目されてゐる折柄、右研究會今後の活動は關係方面から相當の關心を拂はれてゐる模樣であると

鑛山技術員養成

機關體系を整備

本府鑛山課内に養成所設置

遞信局と強調週間

きのふ管下へ通牒

遞信局では國民精神總動員銃後報國強調週間に當り左の通り實施する事となつた

一、消費節約

一、紙の節約

1　用紙、式紙類の使用は極力之を節約し無駄濫費に陷らざるやう全員協力勵行すること尚謄寫版刷に當りては左の點に注意すること

(イ)試し刷は刷損品の裏面又は其の他の反古紙を使用すること

(ロ)刷損の生ぜざるやう刷成に注意すること

(ハ)必要數を正確に算出し無駄刷を爲さざること

(ニ)二枚以上の綴物の刷成に當りては各頁の刷成數を正確に計算し過剰刷を爲さざること(此種無駄多し)

6、各種用紙及計表類にして規格寸法に統一し得るものは此の際之を統一し製作上の無駄を省き且事務能率の向上を圖ること

7　用紙類の使用に當りては用途に應じ夫々適紙を選び成るべく低級品を使用すること例へば小判西洋罫紙は下書又は課内用等には「乙」(下級品)を使用

反古紙、古新聞、古雜誌等は焼らずに之を回收するやう措置すること

(ロ)使用濟帳簿及式紙類並に古官報及古局報等不要品は此の際極力整理し不要處分すること

8　封皮類は特殊外二重封皮を使用…

二、燃料の節約

1　揮發油の節約…

國策パルプの製紙側持株

三菱で引受か

【東京發】國策パルプの創立をめぐつて人絹、ステープル會社側と製紙側とが出資割合、首腦部問題…

…綿作地帶農事合作社と協力し綿作農民に對し優良種子の無料配布、耕作資金の融資に乘出すことになつたが、更に棉花公司をして中央銀行から棉花耕作資金として二百五十萬圓の借入れを斡旋、五月一日から積極的貸出しを行ふことになつた

アルミニュームの配給統制も近く實施されん

鐵鋼代用と軍需增で

北支の半島同胞一堂に會し祝宴

本社北京支局開設を慶福

【北京支局發】

"朝鮮煙草は有望"

北支の自給問題で森課長談

夕刊後の市況

雜株は下支ふ

見果てぬ青春【98】

川口松太郎作　志村立美繪

【新興撮影上演映畫化】

見知らぬ客（三）

『話を元へ戻して公演費用の件なんですがな』

中川の態度がやゝ改まつたやうで『どうも二回の缺損は少し大きすぎました。流石に閣下も眉をしかめてお在での御樣子なんで…』

『どうも全く、申しわけございませんせん』

『花柳壽美次の名聲が次第に高くなり、一流の舞踊家になつてくれる事を、陰ながら喜んでゐるのだから、お金の事では決していやな顏はなさいません、が、然し事務を扱つてゐる自分の立場とすると、工合の惡い事も再三あるのです』

『それやア判つて居ります、いろ／＼御迷惑をかけてゐるのですから、お願ひはいたし憎いのでございますけれども……』

『然し、閣下も、澄子さんが藝術家として大成するのを、外所ながら樂しんでゐる御樣子だから、どんな事も否とは仰せにならんが、出來るだけ切りつめて、あんまり贅澤はせんやうにして頂きたいと思ふ』

『それも、よく判つて居りますので……』

『云ふまでもない事とは思ひますが、第三回公演で、又二回目のやうなことになつては、閣下にも云ひ憎くなりますからだ』

『はあ』

『十分おふくみを願ひたいと思ひます』

『澄子は、三回の公演で、二回目の缺損を補ひたいと申して居りますが、とても、そんなわけには行くまいと存じます』

『それやア到底……とてもそんな事は……』

『澄子は是非さうすると申して居ります』

『さうなれば心配はありませんが、先づ覺束ないな、はつはつはつ』

暗い中で、弟の手が、澄子の膝の下を輕く突いたが、今度は姉の方が、下をむいたきり顏をあげなかつた。

公演の缺損には出どころがあつたのだ、北柳壽美次にはパトロンがあると云ふ噂も、火のない煙ではなく、自分の知らぬ間に、自分を援助してゐる見知らぬパトロンがあつた。下をむきながら澄子はしく／＼泣いてゐた。母にも弟にも、世間にも師匠にも、誰にむかつても顏むけの出來ない心持がして悲しかつたのだ。

『私が、あんまり度々お訪ねするのはどうかと思ひますが、澄子さんや明男君は僕を不思議に思つてゐやしませんか』

やがて中川はそんな事を云ひ出したが

『大丈夫でございます、二人ともそんな事には至つて呑氣に出來て居りますので』

と、母は心にもかけぬ樣子で

『決してお氣づかひには及びません』

と云つた。ふだんから、澄子も明男も、中川の來訪を、不思議なものゝ一つには思つてゐた。毎月月の終りには必ず訪ねて來て、母と話して歸つて行く。三十分ぐらゐの時もあれば、一時間以上も話込む事もある、横井家からの生活費を屆けて來る使ひであつたが、澄子も明男も、用向の内容は少しも知らずにゐた。

『では、今日はこれで歸りませう、第三回公演の事も閣下のお耳に入れて置きますし、幾分の缺損は此方で始末をしてゐますから、やるだけはおやりなさい、閣下も彌生會の盛大になるのを望んでゐらつしやるのだか……』

ラヂオ　廿六日（火）

第一放送

朝の部

午前六・二五　ニュース

六・三〇（東）精神總動員強調週間（第一日）基礎英語講座

七・〇〇（東）時報

七・〇一（東）朝の修養　本を讀めよ（一）　文學博士　諸橋轍次

七・二〇（城）ラヂオ體操

七・四〇　今日の天氣見込

九・二〇（城）氣象通報

一〇・〇〇（東）衛生メモ（日用品値段休止）

一〇・一四（東）獸疫

午前一〇・一六（東）國民唱歌『海ゆかば』　獨唱　大和田愛羅　伴奏　東京放送管絃樂團

一〇・三〇（東）婦人講座　日本女性　吉田松陰の母　河野通毅

晝の部

一一・〇〇　休止

正午（東）時報

（東）マンドリン五重奏

一、冥想曲『マリアの庭』

二、小夜曲

三、小品三つ　（イ）愛らしき小歌　（ロ）ノールウエーの子守歌　（ハ）雨

—ルーネス・クヰンテツト—　第一マンドリン　吉井俊二　第二マンドリン　平山英三郎　マンドーラ　有岡一郎　マンドチエロ　伊藤義介　ギター　小林行治

四、朝の歌

五、侯爵婦人の節にて

六、圓舞曲『憧れ』

〇・三〇　ニュース（鮮魚卸値段休止）

午後一・一〇（井）滿蒙開拓青少年義勇軍教育港出發實況——敦賀市鐵道棧橋陸軍運輸部事務所より中繼

二・〇〇　休止

二・四〇（東）ラヂオ體操

三・〇〇（城）婦人の時間　銃後報國と婦人　津田節子

三・〇〇　婦人の時間（清津）銃後に於ける婦人の覺悟　内山いち

四・〇〇　ニュース（氣象通報）釜山・清津（職業紹介）

五・三〇　競馬常識講座（二）（平壤）國防と競馬　平安南道參與官　金秉泰

夜の部

六・〇〇（大）國史劇『輝く日本』（その二）聖德太子　大阪國民劇研究會

六・二〇（東）コドモの新聞

六・二五（東）國際文化講座　アメリカインデイアンの夢の國　サルバドールとグアテマラ　領事　大谷彌七

六・五五（東）カレント・トピツクス

七・〇〇　ニュース・天氣見込

七・三〇（東）國民唱歌と國民歌謠　獨唱合唱　ヴオーカル・フオア

七・四〇（城）講演　戰局の大觀と今後の展望　朝鮮軍參謀長　陸軍少將　北野憲造

八・〇〇（城）浪花節（京城・釜山）坂崎出羽守　廣澤菊一文字　三原進

八・〇〇　歌謠曲と輕音樂（平壤）平壤放送管絃樂團

一、輕音樂　蹴らざる愛

二、歌謠曲　（イ）上海便り　（ロ）人世航海

三、輕音樂　ハリキリトミー

四、歌謠曲　（イ）希望の港　（ロ）銃を抱へて　（ハ）愛國行進曲

八・〇〇　歌謠曲（清津）

一、忠烈大和魂　二、戰友の歌　三、慰問袋を　四、還らぬ人　五、峠の幌馬車　六、白薔薇のブルース　七、かちどき櫻　八、日の丸行進曲

八・三〇（東）詩の朗讀　『旅』　大日方傳　生方明

八・五〇（東）連續ラヂオ小說　東洋武俠團（前篇）『海底軍艦』　演出　AK文藝部演出班　音樂　東京放送管絃樂團

配役　柳川龍太郎　柳永二郎　櫻木大佐　伊井友三郎　濱島武文　伊志井寬　大尉　山口俊雄　武村兵曹　瀨戸英一　船客運轉手　山村聰　船客水兵　中西近之佑　濱島日出雄　花柳喜章　解說　市川紅梅　伴奏　東京放送管絃樂團　演出　JOAK文藝部

九・三〇（東）時報・ニュース・ニュース解說・氣象通報　明日の曆・翌日の番組・地方へのニュース・銃後美談

第二放送

正午（東）マンドリン合奏

六・〇〇　ラヂオ旅行

六・二五（平）講演　朝鮮軍參謀長

七・四〇　講演

八・〇〇　獨唱

八・三〇　俗曲　方龍鉉・外

九・〇〇（平）ラヂオ歌謠

あすのきゝもの　廿七日水

午前一〇・二〇（城）家庭講座　廢品回收運動に就て（二）　庄司秀雄

正午（東）時報につゞき（城）浪花節〃堀川の大力〃　廣澤菊一文字

午後六・〇〇（城）ラヂオスケツチ〃銃後の報國〃　柳木作賀

六・〇〇　お話（清津）〃正雄君の誓ひ〃　山下文雄

一、節約報國、二、ス・ツ御飯　木の芽座

七・三〇（東）國民唱歌と國民歌謠　獨唱合唱　ヴオーカル・フオア　伴奏　東京放送管絃樂團

七・四〇（城）講演　廢物利用の意義と紙並に木綿の廢品利用更生に就て　朝鮮商工會議所會頭　賀田直治

八・〇〇（東）管絃樂（本邦初演の名曲定期演奏第四回）日本放送交響樂團　指揮　坂西輝信

八・三〇（東）新日本音樂　久本玄智社中

八・五〇（東）連續ラヂオ小說　東洋武俠團（中篇）『空中軍艦』　柳永二郎・外

九・三〇（東）時報・ニュース・明日の番組

講演　戰局の大觀と今後の展望　後7.40

朝鮮軍參謀長　陸軍少將　北野憲造

本日は護國の新英靈を祀る靖國神社臨時大祭日であり又愛國の意氣に燃ゆる半島總動員銃後報國強調週間の第一日であります、此の意義ある日に方りて私は先づ各位と共に新英靈に對し敬弔の誠意を捧げると共に將來に於ける戰局發展の加護を祈願するものであります

而て現今時局の推移に付き聊か所懷を披瀝し今や戰局は蔣政權の潰滅及び防共の確立だけでも第二第三と難所の峠が前途に控へて居り我等銃後にある者は軍官民の別なく自奮協力し標語の所謂『一人々々が銃後の勇士』を如實に示し外國に對して少しの緩みをも見せず戰力國力の一大充實を期することの最大要務たることを强調し國民の堅忍不拔一層の深き覺悟をお願ひ致したく思ふものであります

詩の朗讀『旅』　【後3.30】

三好達治・作　AK文藝部作曲　出演　大日方傳外

【解說】從來『詩の朗讀』に取り上げられた詩には、文字で讀む詩が多く言葉でつたへる詩が少い…といふ傾向があつた。この聞く詩、聞かせる詩を扱ふこと、文字としての言葉でなく、抑揚に言葉としての言葉、これを正しく音聲にて傳へること、これがこの度の放送の一の意圖である

作者三好氏は、これを詩の言葉の用ひ方に於て工夫を重ねてゐる朗讀にうつたへてつまらぬ樣に見えるかも知れない詩も耳にきくときは全く反對なのである

演出に、一つの新しさを試みた『朗讀』の和聲的效果、男聲と女聲（今の場合は女聲は伴奏的效果として用ひられてゐる）との適當な驅使、之である。このためにも亦詩の言葉の用ひ方が考へられねばならぬのだ。聲の立體的構成をねらつてゐる

一貫したテーマに於て詩を把へる、このためにはいろ／＼な手段方法があらう。こゝでは散文を以てして、全體を一の詩的ファンタジイに包んだ

連續ラヂオ小說　東洋武俠團　【後8・50】

押川春浪・原作　甲賀三郎・脚色　伊藤昇・作曲

海底軍艦

伊井友三郎　大矢市次郎

『東洋武俠團』は明治文壇に特異な地位を占めた押川春浪の著した武俠小說の各代表作を打つて一丸とし東洋古來の英雄記や武勇傳に歐米の冒險譚に見る科學的興味を加へ奇想天外の空想を驅使したものである、愛國熱血の士が祖國日本を愛する餘り强大無比の新銳武器を建造しもつて大いに貢獻する所あらんとするところを描き小說に託して武俠精神を說かれ作者押川春浪は小說に託して武俠の精神を鼓吹しようとするのである『東洋武俠團』は日本が日淸戰役に大勝し國運大いに進展した當時の國情を背景としたものであるだけに有り得べからざることを描き更に空想的な新武器の發明を實現してをり大人のため好讀物たるを失はない、このたびAKでは科學者にして小說家を兼ねた甲賀三郎氏を煩はして押川春浪が靑少年に向つて發した興國的精神をこゝに再現し三日間に亘つて放送しようとするものである

日本汽船弦月丸六千四百噸が祖國日本をさして印度洋を航行ナポリ出帆以來跡をつけてきた一萬噸以上の巨船海蛇丸は突然弦月丸に衝突した。何たる暴虐そこの海賊船一遂に船型の小さな弦月丸はみるみるうちに沈んでゆく乘客の柳川氏、濱島夫人春枝、息日出雄は救命帶にすがつて海上を漂流する、小端艇に泳ぎついた柳川氏日出雄少年は辛くも無人島に漂着した。

こゝは累々たる熱帶の樹木が全島を蔽ひ神仙遊樂の境である。バナナがたわわに實つてゐる柳川氏と日出雄少年が島內を歩いてゐるうち鐵槌の音響が聞えたので草を分け入るうち銃聲一發、二發誰か近づいた氣配、突然現はれたのは日本人櫻木海軍大佐だつた櫻木大佐は二年以前三十七名の部下とともに帆走船に乘つていづこともなく行方をくらましたが印度洋をずつと南に偏したこの無人島で何事かを企てゝゐたのである。大佐は憎むべき海賊船海蛇丸の襲擊によつて行方不明となつた濱島夫人の仇を報ずることを日出雄少年に約束する。櫻木大佐が二年以來この無人島に於て企てゝゐたのは驚くべき偉力を有する前代未聞の海底戰鬪艇の建造である。全艇長百三十呎六吋、幅員二十二呎七吋その威力の物すごさは驚嘆すべきものである。しかも櫻木大佐らが建造中なのはこれのみでなく鬪戰なる新銳武器までも作らうとしてゐるのである

二年九ケ月の年月が過ぎた。海底戰鬪艇も鬪戰艦も遂に完成した。愈々海底戰鬪艇の進水式の當日——突如稻妻の光、物すごい潮鳴り、大海嘯が襲來した。艇は無事だつたが動力用の藥品が流されてしまつた。一まづ橄欖島まで艇を操つてゆくことになつたが藥品を買ひ整へ商島に屆けることになり武村柳川の二人が輕氣球にのつて朝日島を飛び出した武村、柳川は風に乘じて大空を飛行中コロンボが見え出したとき大風が起つて空中を漂つてゐるうち日本の軍艦が走つてゐるのが見える。途端島に氣球を破られて洋上に墜落する。海上に墜落した武村、柳川は奇蹟的に救助された。救助したのは濱島大尉らのボートだつた。濱大尉は回航中の軍艦『日の出』の分隊長である。意外にも此『日の出』には濱島氏も春枝夫人も乘つてゐる春枝夫人は漂流中英國艦に救助されたものであり濱島氏は自分の艤納した軍艦『日の出』に便乘して祖國をさして歸る途中なのである。柳川等の希望によつてコロンボに寄港し戰鬪艇に必要な藥品を買ひ準へ橄欖島をさして軍艦『日の出』は急行中であつた甲板での四方山話のうち濱島は柳川の兄一條武雄が强大な空中軍艦を發明した顚末を語つてゐる時かの弦月丸を沈めた海蛇丸が六隻の他の海賊艦と共に立現はれたそして不法にも軍艦『日の出』に向けて發砲『日の出』も直ちに應戰轟々殷々たる砲聲轟き大海戰が開始された、時恰も海底戰鬪艇が姿を現はして海賊艦を一擊のもとに粉碎し去つた。凱歌がこゝにも揚げられたのである

婦人の時間（午後三時）

銃後報國と婦人

津田節子

銃後にあつて國に報ゆる道、殊に婦人としてどういふ心構へが必要でせうか、支那事變勃發當時は一同興奮してゐたので婦人の運動も表面的、一時的、感情的でありました、愈よ事變も長期戰に入り堅忍持久の時になりました今日、國民精神總動員中央聯盟で發表した家庭報國運動の三要項は大變適切なものだと思ひます

第一　健全なる家風の作興

第二　適正なる生活の實行

第三　臣民としての子女の敎養

これらの實行について皆樣と共に考へ且つその原動力である日本國體精神について申し上げたいと存じます

本社特選　半島大棋戰（8）

四段　赤岩嘉平氏　先番　先二　韓相龍氏（四目置碁）

○四六　れ十二　●四七　た十三　○四八　か十一　●四九　ほ十六　○五〇　に十五　●五一　へ十七　○五二　と十八　●五三　ほ六　○五四　か十六　●五五　た十六　○五六　を十五　●五七　を六　○五八　る五　●五九　れ十　○六〇　そ十三

い　ろ　は　に　ほ　へ　と　ち　り　ぬ　る　を　わ　か　よ　た　れ　そ　つ

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

白十邊に貪る　惜らくは黑五七のオシ

講評　七段　瀬越憲作

味ふべきコスミ

◇黑『りノ十二』のワタリを防ぐ爲めに打たれた白四六、四八の手段は、隅の味を消しよろしくない。斯かる場合は『よノ十二』にコスミ、ワタリを防ぐと同時に隅に餘裕を遺すのが、常用手段となつてゐる。

◇黑四九以下五三までは、白から五十にツガれる手を未然に防いだので、斯く打つて置けば右邊白十八以下の六子の攻めも利くし、左邊四四以下の白を攻擊するに當つても大いに好都合である。

◇白五四は腕の黑地を巧く消して先手を取り、上邊の緊急點に手を廻さうと云ふのであつて、この場合適切である。

然るに黑若し是を放置せんか、白は五十にツギ中原を厚くし、その威力は全局的に波及し、守備に當り攻擊に對して少なからず損となる。故に茲を黑が破つて置く事は緊要であると同時に、今はその時機である。

尤も白五四で『たノ十七』まで侵入する事が出來ない現狀にあつては、斯く打つ外はない譯であるが、若し白が『たノ十七』まで進んで來れば、黑は參考圖（1）の如く應じて良い。

參考圖（1）白一に對し黑は二と外側からキビしくオサへ以下黑十四まで必然の結果である。次いで白は『い』に打つて劫であるが、劫活きでは問題にならず、假りに是が無條件で活き得たとしても、代償として黑に與へた外側の强化は、左邊の白の脅威であり下邊の白の不安となれば、本圖白一は絕對的に成立しない譯である

◇白が下邊で先手を取り上邊に着眼したるは可とするも五六と大きく戰はんとしたのは誤りであり却つて黑の戰略を便ならしめる。而已ならず黑に五七のオシを一本利かされる事は黑五七に就ては他により以上の方策が在るが——左邊四四以下の友軍をそれだけ强化す事となれば、白五六は盲點あつて一利なき手と云ふべく、これは『ろノ四』に開く位で滿足し、徐ろに戰機の熟するを待つべきであつた。

◇然るに黑が直ちに五七とオシ白五八とノビさせたのは如何——この交換は暫く保留し、先づ五九とコスミ白六十と換つて先手で、この白の眼形を奪ひさうして『かノ九』にトンで打つ處であつた。

參考圖（2）即ち黑一、三と打つのである。次いで白四とトべば、五と深く侵略を企てる。——斯く打つ事に因つて本譜黑五七白五八の交換が早計であつた事がハツキリするであらう——つゞいて白六なれば、黑は七以下十一と敵地を蹂躙して了ふ。この結果は白五六の誤りを充分に咎め得たと同時に全面的に絕對的優勢を物語るものである。

手順中白四で『い』にオシて來れば、黑は四にボウシして左邊の白を攻擊する。次いで白『ろ』とコスミ出した時——『ろ』で『は』の方面へ逃路を求める事は、黑に『に』と塞られて是は下邊に黑『わノ十六』『をノ十六』の利いてゐる關係上面白くない。黑『ほ』と二目の頭をハネ以下白『ち』『へ』黑『と』白『ち』『り』で、これまた上邊の白地を荒す事を得る。尚白『ち』で『ぬ』にウケれば、黑『り』『ぬ』とハネて良い。これ黑五七のオシが早計であつた所以である。しかしまだ上邊の白地は確保されてゐる譯ではない。

參考圖（1）

參考圖（2）

日本棋院春季大手合

（甲組第三回成績）

（二〇點）先二先　二目勝先番　木谷　高川　七段　四段

（三〇點）中押勝先　小野田　磯野　六段　四段

（一五點）五先先番　中押勝　久保松　橋本　六段　六段

（七五點）八目勝先番　五先　岩本　前田　六段　六段

（一〇〇點）五目勝　先相先先番　村島　向井　五段　四段

（四〇點）八目勝先番　先相先　篠原　田中　五段　四段

（一五點）五先先番　六目勝　長谷川　關山　五段　五段